

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

| | |
|---------|-----------------------|
| 上位の施策名称 | 施策Ⅲ-1-2 発達段階に応じた教育の振興 |
|---------|-----------------------|

1. 事務事業の目的・概要

| | | | |
|----------|--------------|------|--------------|
| 事務事業担当課長 | 保健体育課長 堀江 隆典 | 電話番号 | 0852-22-5722 |
|----------|--------------|------|--------------|

| | | | |
|---------|---|---|--|
| 事務事業の名称 | 体育・競技スポーツ大会支援事業 | | |
| 目的 | (1) 対象 | 中学校体育連盟・高等学校体育連盟 | |
| | (2) 意図 | 中学校体育連盟、高等学校体育連盟が主催する事業の円滑な運営を図ることにより、中学生・高校生の大会への参加、活躍を促進する。 | |
| 事業概要 | ・中学校体育連盟、高等学校体育連盟が主催する大会等について運営費等を助成する。 | | |

2. 成果参考指標

| (1) 成果参考指標 | 指標名 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 |
|------------|--|------|-------|----------------------|--------|--------|-------|----|
| | | | 式・定義 | 県中学総体、県高校総体への参加生徒の割合 | 目標値 | 28.00 | 28.00 | |
| 式・定義 | 中学生、高校生のうち県中学校総体・県高校総体に参加した者(国私立各) / 全中学生・高校生数(国私立各) | 実績値 | 28.00 | 28.00 | 29.70 | 29.20 | | % |
| | | 達成率 | | 100.00 | 106.10 | 104.30 | | % |
| 指標名 | 年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度 | 26年度 | 27年度 | 単位 | |
| | | 目標値 | 0.00 | 0.00 | | | | |
| 式・定義 | | 実績値 | 0.00 | 0.00 | | | | |
| | | 達成率 | 0.00 | 0.00 | | | % | |

3. 事業費

| | 26年度実績 | 27年度計画 |
|-------------|--------|--------|
| 事業費(b) (千円) | 2,009 | 1,597 |
| うち一般財源(千円) | 2,009 | 1,597 |

4. 改善策の実施状況

| | |
|---------------------|------------------------|
| 前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況 | ②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む) |
|---------------------|------------------------|

5. 評価時点での現状(客観的事実・データなどに基づいた現状)

・県中学校総体、県高校総体の円滑な大会運営と全国大会参加経費の負担軽減を図ることができた。

6. 成果があったこと(改善されたこと)

・県中学校総体、県高校総体の大会運営については、諸経費等の削減に協力、節減対策により効果的、円滑な大会運営ができた。

7. まだ残っている課題(現状の何をどのように変更する必要があるのか)

①困っている「状況」

・県中学校総体、県高校総体とも参加選手が減少している。
・大会運営の役員が不足している。

②困っている状況が発生している「原因」

・生徒数、学校数の減少がそのまま参加選手の減少につながっている。
・指導経験のない教員が増加し、大会役員の不足につながっている。

③原因を解消するための「課題」

・運動部活動に参加する生徒を増やすことが大切であるが、生徒数減少に歯止めがかからない状態であるため、魅力ある部活動経営、中学校総体への参加方法のあり方等検討する必要がある。

8. 今後の方向性(課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方)

・県中体連では、クラブチームと部活動の両立が難しいので、双方の連携をとりながら方策や対処を図る。
・大会運営を円滑にするために、第2顧問、第3顧問の役員参加や審判講習会を開催する。
・中学生、高校生のスポーツ面での覇を競う場として中学校体育連盟、高等学校体育連盟の運営支援を維持する。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価(任意記載)